

2014 年度事業報告

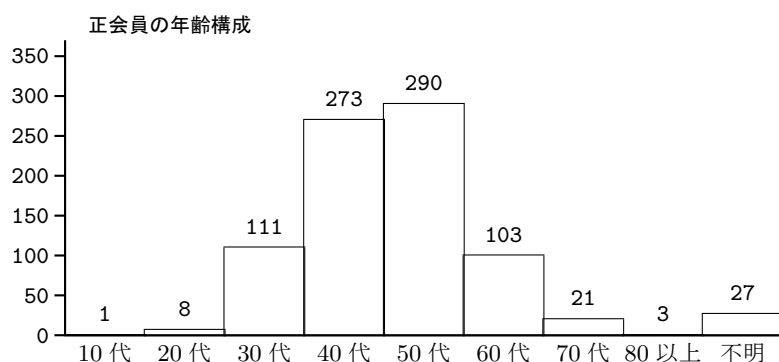
1. 会員

2015 年 3 月 31 日現在の会員状況は次の通りである。

正会員	837名	準会員	22名
名誉会員	3名	団体会員	7団体
学生会員	65名	賛助会員	5社

2014 年 3 月 31 日時点での正会員数は 855 名であり、そこから 18 名減少したことになる。

正会員の年齢構成を次のグラフに示す。50 才以上の正会員が 53%程度、40-49 才の正会員が 33%程度、30-39 才の正会員は 13%程度である。なお、20 代の正会員が少ないが、学生会員の多くは 20 代であろう。



2. 会議の開催

2.1 総会（2014 年度）

日 時： 2014 年 6 月 13 日（金）18:00～19:00

場 所： 国立情報学研究所

出席者： 代表会員 38 名（委任状を含む）（代表会員総数 41 名）

議 案： 第 1 号議案 2013 年度事業報告の承認の件

第 2 号議案 2013 年度決算の承認の件

第 3 号議案 2014-2015 年度役員選任の件

議決の定数を超える 38 名（委任状を含む）の出席があり、加藤和彦理事長を議長に、第 1 号議案、第 2 号議案を審議し、決算が適正であるとの 2013 年度監事の報告を受けて、満場一致でこれらを承認した。続いて第 3 号議案について審議し、役員候補者選挙で選出された役員候補者を役員として選任することも満場一致で議決した。

2.2 理事会・役員会

理事会は、第 17 回（2014-05-13）から第 21 回（2015-03-27）まで 5 回開催した。役員会は、第 21 回（2014-05-13）から第 27 回（2015-03-27）まで 7 回開催した。2014 年度の理事及び監事は次の通りである。

理事長 加藤和彦

理 事	明石修	大山恵弘	河合栄治	栗原聡
	櫻井祐子	滝本宗宏	立石孝彰	細部博史
	増原英彦	丸山勝久	南出靖彦	八杉昌宏

吉岡信和 脇田建

監事 中島震 丸山宏

2.3 評議員会

平成 26 年度 (2014-09-9) 評議員会を名古屋大学東山キャンパスにて開催し、学会運営について討議した。評議員会開催時における評議員は次の通りである。

牛島和夫	大沢英一	大堀淳	大蒔和仁	大和田勇人
落水浩一郎	笈捷彦	片山卓也	亀山幸義	佐々政孝
佐藤周行	佐藤雅彦	柴山悦哉	武市正人	田中英彦
田中讓	玉井哲雄	近山隆	土居範久	都倉信樹
所眞理雄	中島震	中島秀之	中田育男	西田豊明
橋田浩一	疋田輝雄	平田圭二	深澤良彰	二木厚吉
二村良彦	古川康一	本位田真一	溝口文雄	森下真一
米崎直樹	米澤明憲			

3. 事業

3.1 機関誌編集

第 328 回 (2014-04-11) から第 332 回 (2015-02-16) まで、5 回の編集委員会を開催し、学会誌「コンピュータソフトウェア」第 31 巻 2~4 号および第 32 巻 1 号を発行した。これらは全て、サイバー増大号であり、冊子体とサイバーページ (電子出版) から構成した。また、「日本ソフトウェア科学会 30 周年」(第 31 巻 2 号)、「ネットワーク技術」(第 31 巻 3 号)、「エージェント」(第 31 巻 3 号)、「ソフトウェア工学」(第 31 巻 3 号)、「ソフトウェア論文」(第 31 巻 4 号)、「サーベイ論文」(第 32 巻 1 号) の 6 回の特集を組んだ。

解説論文や解説記事の充実を図った。その結果、第 31 巻 2 号から第 32 巻 1 号までの合計で、解説論文 12 編、ソフトウェア紹介 3 編が掲載された。

2005 年度から開始した読者モニタ制度をアナウンスし、応募者の中から選定された 3 名のモニタから機関誌および各記事に関するさまざまなフィードバックを得た。

第 19 回研究論文賞として、以下の 2 件を選定した。

- ・青谷 知幸, 紙名 哲生, 増原 英彦:「オブジェクトごとの層遷移を宣言的に記述できる文脈指向言語 EventCJ」, Vol. 30, No. 3 (2013)
- ・今井 健男, 酒井 政裕, 萩谷 昌己:「Minimal Unsatisfiable Core 列挙によるプログラムの準最弱な事前条件推定」, Vol. 30, No. 2 (2013)

また、第 5 回解説論文賞として、以下の 4 編の解説論文からなる一連のシリーズを選定した。

- ・横尾真, 岩崎敦, 櫻井祐子, 岡本吉央:「計算機科学者のためのゲーム理論入門」シリーズ, Vol. 29, No. 2, 4, Vol. 30, No. 1, 2 (2012-2013)

2014 年度の編集委員会の構成は次の通りである。

編集委員長	田中二郎				
編集副委員長	岩崎英哉	河内谷清久仁			
編集担当理事	増原英彦	細部博史			
編集委員	青木利晃	明石修	阿萬裕久	石川冬樹	和泉順子

馬谷誠二	河合栄治	川端英之	栗原一貴	栗原聡
神田陽治	河野健二	河野恭之	小林隆志	小宮常康
権藤克彦	佐藤進也	沢田篤史	首藤一幸	住井英二郎
高田眞吾	高橋伸	寺田努	戸辺義人	中野圭介
西崎真也	林晋平	松田一孝	真野健	美馬義亮
望月茂徳	門田暁人	結縁祥治	横山大作	鷺崎弘宜

3.2 企画委員会

合計 5 回の企画委員会を開催し、各種の企画にあたった。2014 年度は、学生や企業の技術者を中心に大会参加者を増加させ、インターネットを通じて学会活動を広くしらしめるための企画、および各研究会の交流を活発にするための企画に重点をおいた。具体的には、講演会の模様をインターネット配信する講演会 FTD (Future Technology Design) を企画した。その講演映像は YouTube を通じて配信した。

2014 年度の企画委員は次の通りである。

企画委員長	吉岡信和			
企画担当理事	丸山勝久	吉岡信和	脇田建	
企画委員	青柳滋己	網代育大	石尾隆	大平雅雄
	大平雅雄	大森隆行	栗原聡	來間啓伸
	田辺良則	中野圭介	福田茂紀	前田俊行
	満田成紀	宮下芳明	廣海緑里	八槇博史
	横山大作	米澤拓郎	番原睦則	脇田建

3.3 大会

2014 年 9 月 7 日～11 日に、名古屋大学 東山キャンパスにおいて第 31 回大会を開催した。

第 31 回大会では、FTD2014、招待講演、トップカンファレンス特別講演を企画したほか、一般セッション、研究会セッション、ソフトウェア論文セッション、デモ・ポスターセッションを設けた。研究会セッション、ソフトウェア論文セッションは第 27 回大会で導入したものを継承しており、FTD (Future Technology Design) は第 30 回記念大会から企画したものである。一方、第 29 回大会から大会本体の登壇発表者の条件を緩和したことから、第 27 回以降の大会の併設企画であった「学生セッション」(ただし、第 28 回大会にて「萌芽セッション」に名称変更し、第 30 回記念大会では大会本体に含めた)を廃止したほか、デモ・ポスターセッションは「予稿なし」のみとする簡素化も行った。学生奨励賞は第 27 回大会で導入したものを継承しつつ、学生の講演者を対象とした。

大会本体の参加者は、196 名 (招待講演者 2 名、正会員 98 名、学生会員 11 名、一般非会員 32 名、学生非会員 53 名) であった。発表件数は、招待講演 2 件 (河口信夫氏、寺内多智弘氏)、トップカンファレンス特別講演 8 件、一般セッション 24 件、研究会セッション 37 件 (PPL: 21 件、rePiT: 12 件、FOSE: 2 件、MACC: 2 件)、ソフトウェア論文セッション 6 件、デモ・ポスターセッション 10 件であった。また、9 月 7 日に、「FTD2014 (Future Technology Design) ～未来をつくる素晴らしいソフトウェアのアイデアを世界に～」を大会企画として開催した。また、9 月 7 日に大会併設イベントとして、チュートリアル「ソフトウェア品質向上活動におけるプロダクトレビュー

の役割と効果」, チュートリアル「定理証明支援系 Coq 入門」, PPL サマースクール 2014「高性能計算のプログラミングの最前線」の3件を開催した.

講演論文集は無線 LAN を通じてオンラインで参加者に配布した. 大会終了後, 製本したものを講演論文集 (ISSN 0913-5391) として国立国会図書館に納本した. 大会の詳細な内容は, 学会誌記事「日本ソフトウェア科学会第 31 回大会報告」(五十嵐淳著, Vol.32, No.1, pp. 3-9, 2015) で報告されている.

大会における優れた登壇発表に対して与えられる高橋奨励賞は, 次の2件である.

- ・坂本一憲 (国立情報学研究所): 「ハッカソン形式の実践的 IT 教育の実施報告」
- ・宋剛秀 (神戸大学): 「Scala 上で実現された SAT 型制約プログラミングシステムのための開発ツール」

学生奨励賞は, 次の3件である.

- ・片山真也 (名古屋工業大学): 「通信制約を考慮した遠隔介護のための適応型コミュニケーション支援システムの実現」
- ・栗原あずさ (法政大学): 「Processing アプリケーション開発のための視覚的ドメイン特化言語の実装」
- ・藤原哲 (公立はこだて未来大学): 「RDF とユーザプロファイルを用いた PBL 向け情報推薦手法」

第 31 回大会の役員は次の通りである. 本大会では新たにプログラム副委員長, デモ・ポスター委員長を設けた.

大会委員長	坂部俊樹			
運営委員長	結縁祥治			
プログラム委員長	五十嵐淳			
プログラム副委員長	大山恵弘			
デモ・ポスター委員長	紙名哲生			
広報委員長	石尾隆			
プログラム委員	五十嵐淳	石尾隆	馬谷誠二	大山恵弘
	紙名哲生	楠本真二	栗原聡	光来健一
	櫻井祐子	杉山安洋	住井英二郎	塚本昌彦
	中島秀之	廣津登志夫	真野健	八杉昌宏
	吉岡信和	脇田建		
大会担当理事	栗原聡	八杉昌宏	櫻井祐子	

3.4 講習会

2014 年度は大会併設の PPL サマースクールと以下のチュートリアルを開催するとともに, 特別講演会 FTD (Future Technology Design) を開催した.

- (1) 「定理証明支援系 Coq 入門」(2014-09-07)
- (2) 「ソフトウェア品質向上活動におけるプロダクトレビューの役割と効果」(2014-09-07)
- (3) 「クラウドに向けた仮想化の最新技術と未来」(2014-11-07)

3.5 研究会

2014 年度は, 次の 8 研究会が活動した. 各研究会の主な活動は下記の通りである.

- (1) 「プログラミング論」研究会 (主査：住井英二郎)
サマースクール PPL Summer School 2014 主催 (2014-09-07, 大会併設)
大会研究会セッション開催 (2014-09-08~10)
ワークショップ PPL2015 主催 (2015-03-04~06)
- (2) 「マルチエージェントと協調計算」研究会 (主査：櫻井祐子)
合同ワークショップ & シンポジウム JAWS2014 共催 (2014-10-27~29)
大会研究会セッション開催 (2014-09-08~10)
- (3) 「インタラクティブシステムとソフトウェア」研究会 (主査：塚本昌彦)
ワークショップ WISS2014 主催 (2014-11-26~28)
- (4) 「ソフトウェア工学の基礎」研究会 (主査：杉山安洋)
ワークショップ FOSE2014 主催 (2014-12-11~13)
大会研究会セッション開催 (2014-09-08~10)
- (5) 「インターネットテクノロジー」研究会 (主査：廣津登志夫)
ワークショップ WIT2014 主催 (2014-06-26~27)
コンファレンス IC2014 共催 (2014-11-04~05)
大会研究会セッション開催 (2014-09-08~10)
- (6) 「ディペンダブルシステム」研究会 (主査：光来健一)
ワークショップ DSW2014 開催 (2014-12-17~18)
- (7) 「ネットワークが創発する知能」研究会 (主査：中島秀之)
ワークショップ JWEIN2014 開催 (2014-08-21~23)
国際ワークショップ WEIN2014 主催 (2014-05-05)
SIG-EIN & JSAI SIG-DOCMAS 合同合宿 主催 (2014-12-16~18)
- (8) 「実践的 IT 教育」研究会 (主査：楠本真二)
実践的 IT 教育研究シンポジウム 主催 (2015-01-28)
大会研究会セッション開催 (2014-09-08~10)

3.6 共催・協賛

会議等の共催・協賛・後援の承認件数は以下の通りであった。

共催：0 件 協賛：12 件 後援：2 件

3.7 広報関係

本学会の Web ページ (<http://www.jssst.or.jp/>) および会員メーリングリスト (jssst_members@jssst.or.jp) を通じて、会員への情報提供を行った。また、Twitter のアカウント (JSSST_Info) を通じた広報活動も開始した。

3.8 基礎研究賞

ソフトウェア科学分野の基礎研究において顕著な業績を挙げた研究者に対して、基礎研究賞を授与しその功績を称える制度を 2008 年度に設けた。7 年目にあたる 2014 年度は、以下の 2 名を選定した。

- ・佐藤雅彦 氏 (京都大学 名誉教授)

授賞業績：計算と論理の本質に関する洞察およびそれに基づく一連の計算理論の構築

- ・平山勝敏 氏 (神戸大学 教授)

授賞業績：分散制約最適化問題に関する研究

2014年度の基礎研究賞選定委員会の構成は次の通りであった。

加藤和彦（理事長）

田中二郎（編集委員長）

明石修 上田和紀 廣津登志夫 二木厚吉 横尾真

4. 選挙

2015年度定時社員総会で任期満了となる役員に対する選挙は、2014年11月14日に公示され、2015年1月9日まで候補の推薦を受け付けた。その結果、役員選挙候補者（理事）として6名、役員選挙候補者（監事）として1名の立候補があった。全員が役員候補者選考委員会にて候補者として選考され、2015年3月2日から2015年3月16日までの期間の正会員による投票に付された。同時に役員候補者選考委員の正会員による審査も行われた。結果は次の通りであった。

役員候補者（理事）選挙 選出

増原英彦 脇田建 石崎一明

伊藤貴之 丸山宏 鷲崎弘宜

役員候補者（監事）選挙 選出

大須賀昭彦

役員候補者選考委員 信任

上田和紀 大堀淳 柴山悦哉 寺岡文男 本位田真一

役員選挙候補者（理事・監事）全員がそれぞれ、社員総会における役員選任の対象候補者として選出され、また、役員候補者選考委員全員が信任を受けた。

なお、この選挙における選挙管理委員会の構成は次の通りである。

選挙管理委員会

河野健二 佐藤周行 吉田健一